

## 「平成30年度第3回座間市総合教育会議」会議録

1 日 時 平成31年2月18日（月） 午後1時15分～2時30分

2 場 所 市民文化会館（ハーモニーホール座間）大会議室

3 構成員

市長、教育長、馬場教育長職務代理者、天野教育委員、小井田教育委員、鈴木教育委員

4 事務局及び教育委員会職員

企画財政部長、企画政策課長、企画政策係長、主事、スポーツ課長、子ども未来部参事兼保育課長、子ども政策課長、子ども政策係長、子ども育成課長、子ども育成係長、青少年課長、教育部長、参事兼教育総務課長、庶務経理係長、施設係長、学校教育課長、保健給食担当課長、教育指導課長、教育研究所長、生涯学習課長、図書館長

5 傍聴人 10人

6 議 題

(1)協議、調整事項

座間市教育大綱改訂案について

(2)報告事項

中学校給食（選択式）事業について

7 会議録

（企画政策課長）

ただいまから「平成30年度第3回座間市総合教育会議」を開会します。本日の進行役を務める企画政策課長の安藤です。よろしくお願いします。

それでは、お手元の会議次第に基づき、進めてまいります。

開会に際し、市長から御挨拶申し上げます。

（市長）

平成30年度の第3回目となる座間市総合教育会議の開催ということで、大変お忙しい中御参集いただきましてありがとうございます。

今年度を振り返ると、8月21日に第1回目の総合教育会議を開催し、4年間の教育大綱

に基づく本市の取組を振り返っていただき、委員の皆様には様々な視点からたくさんの建設的な御意見や率直な御感想を頂きました。

10月1日からは、金子教育長からバトンタッチをした木島教育長に新たに加わっていただき、11月14日に第2回目の総合教育会議を開催しました。当会議では、この間に作成した素案に対して各学校長の皆様からも多様で建設的な御意見や率直な御感想を頂き、これらを反映させた教育大綱改訂案の検討をしていただきました。

この時点で教育委員会の独自性を担保しながら、一方でサポートをしていく市長部局側とで見解についてすり合わせをし、そして、座間市の教育が円滑に成せるようにということで、教育大綱の改訂に当たっては細心の注意を払うべく、市長部局側でも対応してまいりました。それぞれの立場で日頃から思っていること、考えていることが十分に熟成され、素案から改訂案に進化したと思っています。

そして、この改訂案に対してパブリックコメントを実施しましたが、特に御意見がないということで、おそらく関心を持ち、御覧いただいた方からすれば、「これでよし」という御判断をいただいたのではないかと私は受け止めさせていただいています。

本日は、次期教育大綱とすべく、市全体の総意の下に作成された教育大綱改訂案の検討と、本市なりに工夫をしながら開始した中学校給食（選択式）事業の取組についての報告をしていただく予定です。

この総合教育会議は、改めて申し上げますが、首長と教育委員会が同じ方向性の下、相互に連携して効果的に教育行政を推進していくために協議、調整を行う場として設置しているものですので、本日の案件について、委員の皆様が率直かつ活発な議論を期待しています。よろしくをお願いします。

（企画政策課長）

次に、次第2、本日の案件ですが、協議、調整事項が一件、内容は「座間市教育大綱改訂案について」、報告事項が一件、内容は「中学校給食（選択式）事業について」です。

本会議は、座間市総合教育会議設置要綱第3条の規定により、市長が議長になるとしていきますので、以後の進行は市長をお願いします。

（市長）

それでは、規定に基づいて議長を務めさせていただきます。本日も活発な意見交換ができればと思いますので、よろしくお願いします。

早速ですが、案件(1)協議、調整事項「座間市教育大綱改訂案について」進めてまいります。まず、事務局から説明願います。

(教育部参事兼教育総務課長)

○座間市教育大綱改訂案について【資料 第2期座間市教育大綱(最終案)】

- ・第2回総合教育会議(11月14日開催)での各教育委員からの意見を反映させた。

(教育指導課長)

- ・3ページの基本理念の○の二つ目に使われている漢字の「子供」について、教育現場ではひらがなの「ども」を使っているとの指摘があり、「ども」をひらがな表記に統一した。
- ・3ページの○の四つ目、「座間市で学び育つざまっ子」の「ざまっ子」の記述について、初めて読む方でも分かりやすいように、ざまっ子を括弧に入れて記述内容を改めた。
- ・4ページ(1)「未来を拓くざまっ子づくり」の○の二つ目と三つ目の記載内容を入れ替えた。
- ・特別なニーズに対応した教育の推進との課題に対し、障害児教育の視点、個々の子供の実態に応じた丁寧な指導という観点を配慮した表現について検討してはとの指摘があり、5ページ(1)「思いやりと規範意識を育む豊かな心の育成」の○の三つ目について、「個々の子どもの実態に応じた丁寧な指導を行うとともに」の一文を加えた。
- ・5ページ(2)「書く力の向上を中心とする確かな学力の育成」の○の二つ目について、「知識」とワンセットになっている「技能」を入れた方が良いのではとの指摘があり、「知識・技能」に改めた。
- ・6ページ(4)「情報化・グローバル化社会に対応できる資質・能力の育成」について、(6)としていたが(3)「健やかな体の育成」の後の(4)として位置付け、学校教育活動のまとまりを分かりやすく表現した。

(生涯学習課長)

- ・新たな項目とした7ページ(9)家庭教育について、文章を分かりやすく平易な表現にとの指摘があり、記述内容について分かりやすいものに改めた。

(市長)

ただいま、事務局から座間市教育大綱改訂案について説明がありました。この改訂案は、第2回の会議で委員の皆様から出された御意見を反映させたものを、パブリックコメントを経て事務局でまとめたものです。

改めて、委員の皆様から御質問や御意見、御感想などを出していただければと思います。よろしく申し上げます。

(委員)

第3回目ということで、総じて感想を申し上げます。

今回の改訂によって、教育現場や行政がこれまで力を入れて取り組んできたことや、国や時代の要請から今後取り組んでいかなければいけない課題がより整備され、明確になったのではないかと思います。新しい時代に合わせた教育施策とはこういうものだというので、広く市民の皆様にも御理解いただけるのではないかと考えています。

さて、私達教育委員は、役目柄、各小中学校に行かせていただいています。そこでは、どの学校も「豊かな心を育むひまわりプラン」と併せて教育大綱が目指すところを指導の重点項目に取り上げて、日々の教育活動に励んでくださっています。それぞれの学校のカラーはあれ、目指すところは一つと、一本柱を掲げる重要性を感じます。そして、その成果が何と言ってもそこで出会う子供達の姿から見て取れます。

施策の方向のトップとして「思いやりと規範意識を育む豊かな心の育成」を掲げられていますが、現在どの学校でも見られることですが、穏やかな雰囲気の中で子供同士の友達関係がより良くなっているということ、それから教師を始め、子供達と周りの大人達との関係が信頼関係で結ばれているということが表れています。そこにも成果として表れていると思います。

また、授業では、自分の考えをしっかりと持ち、自分の言葉で発信する、又は論理的な文章を書く力を付ける、こういう学びのスタイルが多く学校の定着しているということです。これまで各学校が努力を重ね、教育を積み重ねていた成果がじわじわと表れているのを感じます。

一方、行政側の施策による成果も随所で目に留まります。市の様々な施設や催しの場で、子供から高齢者まで生き生きと取り組んでいる姿が目につきます。自分磨きに勤しんでいる姿に感じることも多々あり、成果物の内容の素晴らしさとそこに携わっている方々の熱意は圧倒されるほどです。充実した人生の歩みの中には、どこかで生涯学習に携わっていると、何よりも御本人がその醍醐味を感じて活動されているというのを見させていただいています。教育大綱で掲げている柱の一つに「生涯にわたり健やかで活気あふれる人づくり」がありますが、行政の施策が順調に進んでいることが感じ取れます。

さらに、今回の改訂で座間の未来を担う子供達は皆で守り、育てていくというコンセプトの下、施策(9)として明文化されました。教育の出発点である家庭教育の重要性と支援の必要性がはっきりと書かれたわけです。核家族化が進み、家庭における悩みや不安、問題、それらを抱える家庭が増えてきています。喫緊の課題として、家庭を何とかしなければいけないという時代だからこそ、必要なことだと捉えています。

まちづくりは人づくりから、全ての市民の皆さんが成長し続け、進化し続け、そして活躍し、生き生きと自分の人生を歩んでいく、それこそがより良いまちづくりの源になるのでは

ないかと大いに期待しています。

私からは以上です。

(市長)

ありがとうございました。

ほかにいかがでしょうか。

(委員)

私は、違う視点から感想を述べさせていただきます。

昨年の10月20日、芹沢公園に台湾少年工の顕彰碑が建設されました。除幕式の際に挨拶された日本と台湾の代表の方々から、遠い台湾から高座の地に来た、ちょうど今の中学生の年齢の少年工達は、芹沢公園の崖に掘られた地下工場で米軍の艦載機の攻撃を受けながら、環境の悪い地下での長時間労働、欠乏する食料、そんな劣悪な環境の中で、雷電を造るため働いていました。そんな厳しい状況の中で、少年工が困ったときに地域のお母さん、おばあさん、おじいさん達が我が子のように優しく接し、援助や世話をしてくれたこと、そのことを少年工達は今でも忘れずに感謝をしているという話です。それを皆さん台湾でも話している、こういう話をしていました。

この話を聞いて大変感激しました。そこで、当時の栗原の人々、座間の人々が持っていた優しさ、人間性というものはどこから来たのかを考えました。明治から大正、昭和の時代に「座間」を良くしようという愛郷心から、村を変えていくには子供から変えていかなければと子供の自主性、自律性、心の豊かさを育成する、こういうことを目指して学校の教育施策として受け入れて行われた当時の座間の教育の成果ではないかと思いました。

どんなに時代が変化しても、学校教育が目指す目標というのは、人格の形成、今で言うと人間の完成ですかね、教員の皆さんは教科の学びと人としての学びの双方を柱とする授業観を持って日々の授業を実施しているわけですから、このことは生涯学習でも同じと思います。

教育大綱の基本理念にある「座間市を愛する人づくり」、大きく変化する社会に対応できる人づくりといった理念は、こう考えると脈々と座間市の中で受け継がれてきたのではないかと考えます。

ここで新たな変化に対応できるような見直しが行われたわけですが、私達も学校訪問等、様々な機会を通じ、教育現場を見てきましたが、その成果も今回取り入れていただきました。ここで見直された「座間市を愛する人づくり」を基本理念とした教育大綱が、座間市の学校教育、生涯学習を進めていく上で、大きな明星になるのではないかという感想を持ちました。

以上です。

(市長)

ありがとうございました。  
ほかにいかがでしょうか。

(委員)

私も感想を述べさせていただきます。

第3回目ということで、事務局を中心としながら内容を精査してきたわけですが、施策(9)が家庭教育ということで一つ独立したものができたのは大きなものであると実感しています。家庭が基盤ということで、また、文章の内容も読みやすく変わったので、ずっと心に入ってくるようになったと思います。家庭が子供を育てていく最初の間ですから、保護者も変わっていかねばならないし、その中で子供が成長していくので、今回の教育大綱で未来ある座間市の子供達がより良く成長していけたら良いと願っています。

座間市に住み始めた頃、本は図書館でしか借りられないという思いが強かったのですが、各地区の文化センターや公民館でも図書館のように本が置いてあって借りられるということを知りませんでした。最近では、子育て世代の若いお母さん達に聞くと新聞を取っていないという家庭が多いです。家の中に活字がないというのは良くないことだと思いますし、本は買えば高いですが、借りれば子供達に読み聞かせがたくさんできるので、小さいうちから本に触れさせてもらえたら良いなと願っています。

以上です。

(市長)

ありがとうございました。  
ほかにいかがでしょうか。

(委員)

市長部局の方々、教育委員会の皆様のおかげで大変立派なものができると思います。こういうものを作っていく過程において、私達教育委員、事務の方々とも色んな議論をしました。それが非常に良かった。つまり、こういうものを作るのに何が大事なのかをお互いに思うところを出し合って、すり合わせをして、皆様にどうやったら理解してもらえるか、そういう作業がある意味で教育委員、教育委員会全体にとっても勉強になり、バージョンアップと言いますか、それが非常に良かったのではないかと思います。

特に、理念などを拝見すると、教育の理念だけではなく、言わば座間市の理念ですね。それがよく表れていると思います。例えば、伝統があつて、その上で現在、未来を良くしていこうと、未来をこうしたら良いと、それがよく表れた教育大綱だと思います。

実際に実践するに当たっては、行政や学校がある程度主体になりますが、大事なのは家庭、地域だと思しますので、皆さんの御協力、御援助をいただいて、あとは、子供達が最終的にいかに幸せになれるか、幸せに育っていけるかということをもみんなで努力したいと思ひます。以上です。

(市長)

ありがとうございました。

それでは、教育長お願いします。

(教育長)

先ほど市長からこれまでの経過について話がありました。8月21日に第1回目、11月14日に第2回目、その中間に私が教育長に就任したわけで、途中から入った形になります。本日も10名近くの校長先生に来ていただいています、この間に校長会の中でも改訂案について検討いただき、もちろん市長部局も教育委員会も回を重ねて、4人の教育委員さんもメール等でのやり取りも含めて随分と内容を検討していただいた上での改訂案ということで、これが完成したことをうれしく思ひます。

現在、教育関係のいろいろな問題が取り上げられますが、少なくとも座間市としては一枚岩となって市の総意というものを作っていくことがとても大切だと思ひますので、こういう形でできたことをうれしく思ひます。

私は、よく言われることですが、学校教育には二つの側面があり、時代を超えても変わらない価値のあるものと継続して守り伝えていくべきもの、そして、時代や社会の要請に柔軟に応じ、変化を先取りして対応していくという不易と流行と言われますが、この部分が教育大綱の中にもしっかりと書き込まれていると思ひます。そして、私の立場としては、今度は実際にこの教育大綱に沿ってどれだけ取り組んでいくか、実践していくかということが大切だと新たに思ひているところです。

以前にもお伝えしましたが、各学校の学校訪問に行くとしっかりと教育目標と言ひますか、校長先生のブランドデザインの中に、ひまわりプランや教育大綱のことがきちんと位置付けられているのがとてもうれしく思ひます。4月から新たなスタートを切るわけですが、改訂案ができたので、この中でこれを取り入れていただいて、教育委員会と学校が一丸になって子供達の教育に当たれたら良いと考えています。我がまち、座間ならではの教育を実践していきたいと考えています。

以上です。

(市長)

ありがとうございました。

委員さんから御感想、御意見を頂きました。総じて、これまでの経過について評価を頂き、良いものができたという思いを共有できていると思います。

ほかにはありませんか。それでは、この最終案をもって「第2期座間市教育大綱」とすることで御異議ありませんか。

〈※異議なしの声〉

それでは、御異議がないということで本案をもって「第2期座間市教育大綱」とすることに決定させていただきます。

続いて、案件(2)報告事項「中学校給食（選択式）事業について」事務局から報告をお願いします。

(保健給食担当課長)

○中学校給食（選択式）事業について【資料 中学校給食（選択式）事業について（報告）】

- ・平成27～30年度に実施したアンケート結果の報告
- ・アンケート結果からの課題点と今後の取組について

(市長)

ただいまの内容について、何か御質問、御意見等はありませんか。

(委員)

全体としてはうまくいっていると思いますが、基本的なところで分からないところがあります。先生方も給食を食べていると思いますが、先生方はどれくらいの方が食べていますか。また、内容と量は同じですか。

(保健給食担当課長)

学校によってバラつきがあります。半分くらいの先生が頼んでいる学校もあれば、それに満たないような学校もあります。教室で食べている先生も多くおり、給食の指導に携わっていただいていると思っています。内容と量は同じです。

(市長)

ありがとうございました。

ほかにいかがでしょうか。

(委員)

引き続き質問ですが、よろしいですか。

教職員向けのアンケートの中に、先生が給食をおいしいかおいしくないかを選ぶところがなかったのですが、生徒の反応を見るためのアンケートということでよろしいですか。

(保健給食担当課長)

そうです。

(委員)

2 ページ目のおいしいかおいしくないかの感想のところですが、おいしくないというのが増えてしまったのは残念な結果なのですが、保護者から見る子供の感想のところにはどちらでもないや、教職員から見る生徒の反応にはその他という感想が多いですね。質問を3択ではなく、もう少し変えたら違った結果も出たのかなと数字を見て思いました。おいしいかおいしくないか、簡単に割り切れるものでもないのかなという気もしました。

3 ページ目のその他感想のところでは寄せられた教員の意見で、おいしくないと言っているのが味ではなく生徒の舌が幼いのだと思うとありますが、私も一理あると思います。大人と子供の味覚の感じ方は違いますし、まだ成長期の中学生には苦手と感じる食材もあるのかなと思いました。

味を感じるセンサーが、舌だけではなく上顎や喉にもあるらしく、噛むことで味覚が磨かれていくと聞きました。小学校給食では噛むことを意識したメニューがあると思うのですが、中学校給食でも噛むことを意識したメニューを調理委託業者に依頼しているのでしょうか。

一か月間の献立表の中に一週間くらい懐かしの小学校給食メニューというのがあったり、新メニューがいくつかあり、家庭のお弁当では難しいバラエティに富んだメニューがあり、試行錯誤をしながらおいしい給食を作ってくださっていると感じています。引き続きお願いしたいと思います。

以上です。

(保健給食担当課長)

噛むことを意識したメニューについてですが、小学校では小魚や豆などの多彩なメニューで対応しています。中学校の給食では、同じようにできない部分もありますが、小魚や豆のほか、お肉を大きく使って噛み切るようなメニューを取り入れたりして工夫をしていきたいと考えています。

(市長)

ありがとうございました。  
ほかにいかがでしょうか。

(委員)

何回か試食をさせていただきましたが、懐かしの小学校給食メニューがなかなかの人気だというのがよく分かります。小学校では嚙むことを始め、「食育」というのを推しています。その中で栄養バランスや自分達の体を作るためにいかに大事なのかを指導していくわけです。

それが、中学校に行くと弁当もあり、選択式もありということで少しずつ薄らいでいくのかもしれないです。逆に、中学校では自立させていかなければいけない、自ら食べるものを考え、実際に食べていく、又は自分でも作る、そういった方向に持っていくのが良いのではないかと思います。

選択式給食は、各家庭では願ってもない、素晴らしくよく考えられたシステムだと思いますが、その辺りをもう少し家庭にも子供達にも伝えていって良いのではないかと思います。

アンケートでは、もっとより良いものにとの意見が出てきていますが、それだけ給食に対する期待が大きくなっているとも受け取れますので、改善できるものは改善していただき、全てのニーズに応えることはできないので、そこは理解、協力をしていただくということで進めていっていただければ良いのではないかと思います。

いろいろな部分で行政のバックアップで素晴らしいものになってきていると感じます。  
まとめると、中学校でも主体的に食に向き合えるような学習も必要かなと思います。  
以上です。

(市長)

御意見として受け止めます。  
ほかにいかがでしょうか。

(委員)

4ページの「アンケートからみえる課題点と今後の取組について」の課題点について、質問させていただきます。

4) 給食の申込み方法ということで、課題点に「申込み忘れが多い」とあるのですが、忘れると後の授業にも差し支えがあるのではないかと考えますが、どう対応しているのか伺いたいと思います。

もう一つ、5) 給食の支払方法の関係ですが、最近はコンビニでの支払が多くなってきていますが、そういった対応ができないか質問させていただきたいと思います。

(保健給食担当課長)

申込み忘れについてですが、一か月前に申し込むという形になっています。例えば3月分を申し込むのであれば、2月1日～中旬に申し込むという形になっています。そこで忘れた生徒は、3月分は自分の家庭からお弁当を持参するというので、昼食については支障ありません。

コンビニ払いについてですが、コンビニの支払用紙に金額を書かなくてはいけないということで、選択式のため何食頼むかによって毎回印字が変わってしまうため、現状ではそこが大きなハードルになってコンビニ払いができていません。

ただ、平成31年度はまとめ払いに対応していきますので、そういったことをやりながら、コンビニ払いについては研究していきたいと思います。

以上です。

(市長)

それでは、教育長お願いします。

(教育長)

先ほど保健給食担当課長が最後に話していましたが、座間市の喫食率は26～27%代を推移して、安定した給食事業が実施されています。いろいろと新聞紙上でも、県下いろんな地区で中学校給食についての記事が載っていますが、やっとな座間市ではこういう形で進めていこうという方向性ができて順調にいらいますので、私は、座間市のやり方はこれで良いと思っています。

また、栄養士さんを見ていると、朝調理場のコンベアーのところで衛生管理について確認をしながら、言葉掛けをしてスムーズに配達できるようにということで、いろいろと気配りされている様子を、実際に工場で見学させていただきました。加えて、非常に衛生的です。調理室に入るまでも非常にチェックが厳しく、そういう中で衛生的に調理されているということもよく分かりました。

中学1年生の保護者を対象とした試食会にも参加させていただいて、大変おいしい給食で参加された方々も皆さんおいしいと言って食べていました。

結論としては、自信を持って進めていただければ良いと思っています。

小学校の校長先生方は食べられましたか。是非まだ食べていらっしやらない校長先生方に食べてもらう機会を設けましょう。そうした中で、中学校に上がる子供達に中学校の給食もおいしいと校長先生から一声掛けてもらうと違ってくると思います。

以上です。

(市長)

ありがとうございます。

皆様から御意見、御質疑を頂きました。本件は報告事項ですが、平成27年から試行実施をし、平成28年2学期から全校で実施をした中学校給食ですが、ちょうど1年余りが経過し、そうした中での組織の中からの御意見でした。貴重な御意見ですので、しっかりと受け止めていきたいと思えます。

それでは、本日の案件は以上ですが、次第3「その他」として、何かありますか。

(企画政策課企画政策係長)

○今後の教育大綱スケジュール

(市長)

ほかには特に無いようですので、進行を事務局に返します。

(企画政策課長)

本日はお忙しい中、御参集いただき、ありがとうございました。本会議の会議録は、後日、市のホームページ上で公開させていただきます。

以上で「平成30年度第3回座間市総合教育会議」を閉会します。